

## 令和7年度 全国国立大学附属学校連盟・調査委員会「附属学校園の課題等に係る調査」(依頼)

調査委員会では毎年、「先生方が働きやすく、生活しやすくなるための情報の集約・活用」をねらいとして調査を継続しております。先生方の業務環境の改善、学級定員、連携・支援体制に係る大学や教育委員会との連携、入試、公開研など、多岐に渡る項目への調査実施にご協力いただき大変感謝いたしております。

今年度はこれまでの調査を受け、以下のような形で調査項目を精選し、調査を実施いたします。なにとぞご協力の程、お願いいたします。

- 1 学校の負担にも配慮し、必要に応じて補足・追加の調査項目を設けさせていただきました。
- 2 あまり発展性がない項目の洗い出しを行い、経年で追う必要性があると思われるものについて、調査項目を継続していくこととしました。
- 3 子どもたちのWell-being実現を支えるために必要な教員の業務環境づくりに資するという点について重視するとともに附属学校園の地域への貢献が強く求められていることから、貢献の度合いを定量的に示すために必要な項目を新たに追加しました。

### 【回答していただくにあたっての留意点】

※調査に先立ち調査委員会では回答のシミュレーションを実施しました。その結果、入力に係る時間(目安)は、単純に質問項目を読んで入力するだけならば、30分から1時間程度となります。

※次のページから、すべての調査項目を表記いたしました。Googleフォームでの回答前に参考にご覧ください。

### 【回答期限等】

令和7年9月30日(火)

回答フォーム(Googleフォーム)によりご回答ください。

### 【回答フォームURL】

<https://forms.gle/pdJxVBFtoiBywKxu5>



【お問い合わせ】 ※不明な点がございましたら、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

千葉大学教育学部附属小学校 下永田 修二

Mail: [shimonagata@faculty.gs.chiba-u.jp](mailto:shimonagata@faculty.gs.chiba-u.jp)

【調査票・調査項目】

【0】所属学校について

0-1. 学校番号（別紙参照）を記入してください。

0-2. 校種を記入してください。

※幼 小 中 高 特支 義務（前期） 義務（後期） 中等（前期） 中等（後期） など

0-3. 学校名を記入してください。

0-4. 記入された方の職名を記入してください。

0-5. 記入された方のお名前を記入してください。

0-6. 貴校の令和7年度7月現在の教員数を記入してください。非常勤教員（専任ではない教員）・管理職は除きます。

0-7. 0-6の教員数について、令和6年度末と比較した令和7年度の増減数について教えてください

① 増えた ② 減った ③ 変わらない

※「0-7」で「①増えた」「②減った」の場合のご質問です。

0-8. その理由を教えてください。

【1】附属学校と大学との連携について

1. 校園長について、当てはまるものを選んでください。

①大学教員の兼担で専任ではない ②大学教員の兼担だが実質専任 ③専任（大学教員の兼担ではない専任）

2. 副校園長について、当てはまるものを選んでください。

①副校園長の配置はない ②副校園長は1名いる ③副校園長は2名以上いる

3. 教頭について当てはまるものを選んでください。

①教頭の配置はない ②教頭は1名いる ③教頭は2名以上いる

4. 附属学校園を統括し、運営上の課題について議論・対応する組織はありますか。

①ある ②ない

5. 4で①「ある」を選んだ場合の統括組織が具体的に対応している項目について選んでください。

（複数選択可）

①教育課程の管理 ②学校施設の管理・改善 ③人事管理 ④働き方改革 ⑤附属学校園間の連携  
⑥附属学校園の教員の研修 ⑦生徒指導・トラブル対応 ⑧いじめ・不登校 ⑨大学・学部との連携  
⑩教育委員会との連携 ⑪地域との連携 ⑫入学者選抜 ⑬研究の進め方

6. 大学に相談したいことで、必要性が高いものを選んでください。（複数選択可）

①産休・育休等の代替教員 ②要配慮児童生徒対応の加配 ③ICT等の支援員の配置 ④いじめや不登校など児童生徒対応 ⑤保護者対応 ⑥地域との連携のあり方 ⑦研究の進め方

7. 附属学校園の予算について

①所属する学部と同じ予算枠内に組まれている ②所属する学部とは別に大学から直接附属学校園全体に予算が配置されている ③所属する学部とは別に大学から直接附属学校園ごとに予算が配置されている

8. 令和6年度の決算について

- ①予算枠内で実施できた ②予算枠内では少し実施できなかった ③予算枠内では大幅に足りなかった

【2】交流人事等について

1. 貴学校園における「大学採用の（交流・研修等ではない）教員」の割合はどの程度ですか。（常勤の教員で大学採用の数）／（常勤の教員総数）×100で算出し、割合をご記入ください。

（ ）%

2. 交流人事での採用にあたって、人選や渉外（当人との交渉）は、実質どこが担当しますか。

- ①附属学校園教員が担当 ②教育委員会が担当 ③いずれの場合もあり

2-1. 「いずれの場合もあり」を選んだ場合、附属学校園教員が担当するおおよその割合を選んでください。

- ① 20% ②40% ③60% ④80%

3. 人選や渉外を教育委員会が担当する場合、どこまで附属学校園の要望を実現してもらえますか。以下の各質問について、「①殆ど実現してもらえない ②あまり実現してもらえない ③分からない ④ある程度実現してもらえる ⑤ほぼ実現してもらえる」の5件法でご回答ください。

3-1. 教科や専門

3-2. 年齢層

3-3. 性別

3-4. 通勤距離

3-5. 経験等

要望事項を特に出していない場合は回答せずに、「3-6. その他」に具体的な内容をご記入ください。

3-6. その他（上記3-1～5以外の要望事項で「④ある程度実現」「⑤ほぼ実現に」該当する項目や要望とは別の視点で教育委員会に依頼している場合がありますら具体的にお書きください）

4-1. 交流人事の期間はどの程度でしょうか。該当が多い年数を選んでください。

（人数が同数の場合は複数選択可）

- ① 3年未満 ②3年 ③4年 ④5年 ⑤6年 ⑥7年 ⑦8年以上

4-2. 交流人事の期間の上限はありますか？

- ① ある ②ない

4-3. 交流人事の期間の上限は何年でしょうか？

- ② 3年 ③4年 ④5年 ⑤6年 ⑥7年 ⑦8年以上

5. 大学採用・交流人事について、課題等に関して以下の点について記してください。

- ・大学採用又は交流人事を進める上で難しかった点やそれに対する工夫点について
- ・大学採用又は交流人事の停滞による問題点やその改善策
- ・大学採用又は交流人事ならではの困りごとや改善点
- ・その他

6. 交流人事について、教育委員会への要望がありましたら記してください。

【3】教員の勤務上の課題について

1. 児童・生徒指導－「いじめ」について **※幼稚園は調査対象外となります。**

R6年度に貴学校園で発生した、「いじめ」について以下の設問にご回答ください。データの取り扱いには慎重を期し、公になるのは統計的に処理した結果に限られますので、趣旨をご理解の上ご協力ください。

1-1. いじめの認知件数に付いて、①-⑤から選んでください。

① 0 ② 1~10 ③ 11~30 ④ 31~70 ⑤ 71以上

1-2. 警察に通報・相談した件数を、①-④から選んでください。

① 0 ② 1~3 ③ 4~9 ④ 10以上

1-3. 児童相談所に通報・相談した件数を、①-⑤から選んでください。

① 0 ② 1~5 ③ 6~10 ④ 10~19 ⑤ 20以上

1-4. いじめの実態把握のためのアンケート等の実施回数を、①-④から選んでください。

① 行っていない ② 年1回 ③ 年2~3回 ④ 年4回以上

1-5. いじめ防止対策推進法第28条第1項が規定する「重大事態」の件数を、①~④から選んでください。

① 0 ② 1~2 ③ 3~5 ④ 6以上

2. 行事や課外活動対応について

2-1. 学校行事の実施について、当てはまるものを選んでください。選択肢にない主な行事で、コロナ禍前よりも規模の縮小や削減を行ったものがあれば「その他」に記してください。（複数選択可）**※幼稚園もご回答ください。**

- ① 運動会／体育祭は平日開催 ② 運動会／体育祭は半日程度で実施 ③ 運動会／体育祭は隔年開催  
④ 運動会／体育祭の規模はコロナ禍前とほぼ変更なし ⑤ 文化祭（及び相当する発表会等）は平日開催  
⑥ 文化祭（同）は半日程度で実施 ⑦ 文化祭（同）は隔年開催 ⑧ 文化祭（同）の規模はコロナ  
禍前とほぼ変更なし ⑨ 遠足等の学外引率行事の回数や規模を縮小

2-2. 部活動改革について取り入れているものを選んでください。一部の部活での先行実施でも構いません。（複数選択可） **※幼稚園・小学校は調査対象外となります。**

- ① 外部指導者（部活指導員ではない）の任用 ② 部活動指導員の任用 ③ スポーツクラブとの連携  
（活動推奨含む） ④ 学生ボランティアの活用 ⑤ 中体連等の大会参加取りやめ ⑥ 休日の活動時間  
削減（活動中止も含む） ⑦ 一部の部活動廃止 ⑧ 部活動の全面廃止

2-3. 部活動改革について取り入れたいと考えているものを選んでください。（複数選択可） **※幼稚園・小学校は調査対象外となります。**

- ① 外部指導者（部活指導員ではない）の任用 ② 部活動指導員の任用 ③ スポーツクラブとの連携 ④  
学生ボランティアの活用 ⑤ 中体連等の大会参加取りやめ ⑥ 休日の活動時間削減（活動中止も含む）  
⑦ 一部の部活動廃止 ⑧ 全面廃止

2-4. 学校として将来的に、部活動はどのように位置付ければよいとお考えでしょうか。 ※幼稚園・小学校は調査対象外となります。

- ① 場所も含め学校とは切り離れた活動にする ② 場所は提供するが外部指導者等を入れ、活動には教員は関わらない ③ 休日の活動のみ外部指導者等が入り、平日の活動は教員が何らかの形で関わる  
④ 上記①や②を基本とするが、希望する教員がいれば認める ⑤ 教員の勤務時間を考慮し活動時間を短縮した上で継続 ⑥ 部活動の数を減らし、活動日数は変えずに複数の教員が担当することで負担を減らす ⑦ 現状のままでよい

#### 【4】 教員に対する支援体制

1. 基本調査 1-1~9に関しては令和6年度実績でご回答ください。該当者がいない場合は0と答えてください。

- 1-1. 産休・育休で休職した先生は何名いましたか。( )人  
1-2. 産休・育休で休職した先生の代替教員は何名任用されましたか。( )人  
1-3. 必要数の任用がなかった場合、その理由を教えてください。(複数選択可)  
① 予算措置がなかった ② 予算措置はあったが人がいなかった ③ 元々学内配置で対応することにして  
いた  
1-4. 病休を取得した先生は何名いましたか。( )人  
1-5. 病休を取得した先生の代替教員は何名任用されましたか。( )人  
1-6. 必要数の任用がなかった場合、その理由を教えてください。(複数選択可)  
① 予算措置がなかった ② 予算措置はあったが人がいなかった ③ 元々学内配置で対応することにして  
いた  
1-7. 支援を要する児童・生徒への補助教員等は何名必要でしたか。( )人  
1-8. 支援を要する児童・生徒への補助教員等は何名任用されましたか。( )人  
1-9. 必要数の任用がなかった場合、その理由を教えてください。(複数選択可)  
① 予算措置がなかった ② 予算措置はあったが人がいなかった ③ 元々学内配置で対応することにして  
いた

#### 2. 専門家との連携

2-1. スクールカウンセラーの配置はありますか。複数の学校園で1名配置の場合も「あり」とし  
ます。

- ① あり ② なし

※「2-1」で「②なし」の場合のご質問です。「①あり」の場合は2-1-2へ進んでください。

2-1-1. その理由を教えてください。

2-1-2. 週当たりの出勤回数(平均)を選んでください。

※「2-1」で「①あり」を選んだ場合のご質問です。(2-1-1~6まで)

- ① 1回未満 ② 1回以上 2回未満 ③ 2回以上 3回未満 ④ 3回以上 4回未満 ⑤ 4回以上 5回未満 ⑥ 5  
回以上

2-1-3. 望ましいと考える、週当たりの出勤回数を選んでください。

- ① 1回 ② 2回 ③ 3回 ④ 4回 ⑤ 5回

2-1-4. 任用の財源として該当するものを選んでください。(複数選択可)

- ① 運営費交付金 ② 後援会費・委任経理金等 ③ 大学の特別予算

2-1-5. スクールカウンセラーによる支援が有効に作用した案件を選んでください。(複数選択可)

①不登校 ②生徒指導に関わる問題行動 ③特別支援教育に関わる発達上の課題 ④虐待が想定される事例 ⑤保護者からの相談 ⑥教職員による生徒(指導)に関する相談 ⑦生徒からの相談

2-1-6. スクールカウンセラーによる支援を拡充するために必要なものを選んでください。(複数選択可)

① 予算 ②人手(なり手) ③学校側の受入体制整備 ④教員の時間的なゆとり

2-2. スクールソーシャルワーカーの配置はありますか。

①あり ②なし

※「2-2」で「②なし」の場合のご質問です。「①あり」の場合は2-2-2へ進んでください。

2-2-1. その理由を教えてください。

2-2-2. 週当たりの出勤回数(平均)を選んでください。

※「2-2」で「①あり」を選んだ場合のご質問です。(2-2-1~6まで)

①1回未満 ②1回以上 2回未満 ③2回以上 3回未満 ④3回以上 4回未満 ⑤4回以上 5回未満 ⑥5回以上

2-2-3. 望ましいと考える、週当たりの出勤回数を選んでください。

① 1回 ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回

2-2-4. 任用の財源として該当するものを選んでください。(複数選択可)

① 運営費交付金 ②後援会費・委任経理金等 ③大学の特別予算

2-2-5. スクールソーシャルワーカーによる支援が有効に作用した案件を選んでください。(複数選択可)

①不登校 ②生徒指導に関わる問題行動 ③特別支援教育に関わる発達上の課題 ④虐待が想定される事例 ⑤保護者からの相談 ⑥教職員による生徒(指導)に関する相談 ⑦生徒からの相談

2-2-6. スクールソーシャルワーカーによる支援を拡充するために必要なものを選んでください。(複数選択可)

① 予算 ②人手(なり手) ③学校側の受入体制整備 ④教員の時間的なゆとり

2-3. 特別支援教育支援員の配置はありますか。

① あり ②なし

※「2-3」で「②なし」の場合のご質問です。「①あり」の場合は2-3-2へ進んでください。

2-3-1. その理由を教えてください。

2-3-2. 週当たりの出勤回数(平均)を選んでください。

※「2-3」で「①あり」を選んだ場合のご質問です。(2-3-1~6まで)

①1回未満 ②1回以上 2回未満 ③2回以上 3回未満 ④3回以上 4回未満 ⑤4回以上 5回未満 ⑥5回以上

2-3-3. 望ましいと考える、週当たりの出勤回数を選んでください。

- ① 1回 ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回

2-3-4. 任用の財源として該当するものを選んでください。(複数選択可)

- ①運営費交付金 ②後援会費・委任経理金等 ③大学の特別予算

2-3-5. 特別支援教育支援員による支援が有効に作用した案件を選んでください。(複数選択可)

- ①不登校 ②生徒指導に関わる問題行動 ③特別支援教育に関わる発達上の課題 ④虐待が想定される事例 ⑤保護者からの相談 ⑥教職員自身の相談

2-3-6. 特別支援教育支援員による支援を拡充するために必要なものを選んでください。(複数選択可)

- ① 予算 ②人手(なり手) ③学校側の受入体制整備 ④教員の時間的なゆとり

3. 代替及び加配の講師について

3-1. 産休・育休・病休の代替や、要配慮児童生徒対応等に対する加配について、大学へ要望を申請した場合の予算措置について教えてください。

- ① 原則付けてもらえる ②付けてもらえない場合もある ③殆ど付けてもらえない

3-2. 予算が措置された場合の、人選の方法について教えてください。(複数選択可)

- ①大学が探す ②附属学校園教員が探す ③教育委員会等外部機関に依頼できる

3-3. 各都道府県の教育委員会は、代替、加配用の講師リストを作成しています。そのリストを、附属学校園の加配の際にも活用することについてご意見を伺います。

- ① 是非活用させて欲しい ②活用できると有り難い ③どちらでも構わない ④あまり必要ではない

3-4. 貴校園が関係する教育委員会において、そのような対応の実現可能性を教えてください。

- ①既に対応実績がある ②頼めば対応してくれそう ③依頼してみないと分からない ④対応は難しそう ⑤既に断られた

#### 【5】地域との連携，地域貢献

1. 貴校園において、「学校運営協議会」もしくはそれに準ずる組織を設置していますか。

- ①はい ②いいえ

※1で「はい」の場合のご質問です。(1-3まで)

1-1. 従来の「学校評議員会」等との差異化は明確ですか。

- ① そう思う ②ややそう思う ③分からない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

1-2. 学校運営協議会の構成メンバーを選んでください。(複数選択可)

- ①教育委員会委員 ②PTA役員 ③元PTA役員 ④(PTA役員歴のない)卒業生 ⑤元学校園長 ⑥地域の代表 ⑦学識経験者 ⑧学校園長

1-3. 「学校運営協議会」を設置・運用しての課題等ありましたら記してください。

2. 都道府県教育委員会等が開催する研修のうち、(部分的にでも)担当しているものを選んでくだ

さい。(複数選択可)

①担当なし ②初任者 ③2年次 ④3年次 ⑤5年経験者 ⑥中堅教諭資質向上 ⑦20年経験者

3. 地域貢献として実際に行っている活動を選択してください。(複数選択可)

①教育委員会主催の研修の担当 ②公開授業研究会を研修機会として実施・活用 ③研修・研究協力依頼への講師派遣・出前授業 ④校園内研修の公開や授業公開による研修の機会の発信 ⑤研究成果(紀要等)を分かりやすい言葉で発信 ⑥地域の学校教育・家庭教育のシンクタンク・実践センター的な役割 ⑦教科以外のいじめ問題への対応, 生徒指導, 基本的な生活習慣の育成, 学校マネジメントなどについての発信 ⑧教育委員会・学校・教科団体等における地域の教育推進に係る会議等への出席

4. 地域貢献として重視している活動を選択してください。(複数選択可)

①教育委員会主催の研修の担当 ②公開授業研究会を研修機会として実施・活用 ③研修・研究協力依頼への講師派遣・出前授業 ④校園内研修の公開や授業公開による研修の機会の発信 ⑤研究成果(紀要等)を分かりやすい言葉で発信 ⑥地域の学校教育・家庭教育のシンクタンク・実践センター的な役割 ⑦教科以外のいじめ問題への対応, 生徒指導, 基本的な生活習慣の育成, 学校マネジメントなどについての発信 ⑧教育委員会・学校・教科団体等における地域の教育推進に係る会議等への出席

5. 令和6年度に実施した地域の教育や社会に附属学校園が貢献していることを明確に示した好事例はありますか

①ある ②ない

※5で「①ある」の場合のご質問です。

5-1 好事例について、具体的な内容について教えてください。

6. 貴校の研究成果を地域教育に生かしていることを見える化した好事例はありますか

①ある ②ない

※6で「①ある」の場合のご質問です。

6-1 好事例について、具体的な内容について教えてください。

## 【6】入園・入学選抜, 公開研

### 1. 入園・入学選抜の状況について

1-1. 以下の学校種・学年における、R7年度入園・入学選抜の「出願数」を教えてください。

1-1-1. 幼稚園は、年少, 年中, 年長の出願数を, 下の学年から「半角数字カンマ区切り」で記してください。該当がない学年には「0」を入れてください。

(年少 55, 年中 23, 年長なしの場合 → 55, 23, 0)

1-1-2. 小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校, 義務教育学校は出願数を, 半角数字で記してください。

1-1-3. 特別支援学校は各学部の出願数を, 下の学年から学部名と共に「半角数字カンマ区切り」で記してください。(小学部 10, 中学部 7, 高等部 6 など)

1-2. 以下の学校種・学年における、R7年度入園・入学選抜の「合格者数」を教えてください。

1-2-1. 幼稚園は、年少、年中、年長の合格者数を、下の学年から「半角数字カンマ区切り」で記してください。該当がない学年には「0」を入れてください。

(年少 20, 年中 20, 年長なしの場合 → 20, 20, 0)

1-2-2. 小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校, 義務教育学校は合格者数を、半角数字で記してください。

1-2-3. 特別支援学校は各学部の合格者数を、下の学年から学部名と共に「半角数字カンマ区切り」で記してください。(小学部 5, 中学部 4, 高等部 4 など)

1-3. 学校種ごとの入園・入学選抜方法について、以下の選択肢から該当するものを選んでください。(複数選択可)

①学科試験(国語的なもの) ②学科試験(算数・数学的なもの) ③学科試験(社会的なもの)  
④学科試験(理科的なもの) ⑤学科試験(外国語的なもの) ⑥実技 ⑦口頭試問 ⑧学力調査・  
発達検査 ⑨行動観察 ⑩面接(本人のみ) ⑪面接(保護者のみ) ⑫面接(本人・保護者両方)

2. 学校研究の取り組み(公開研究会等)

2-1. R6年度に公開研究発表会を開催しましたか。

① 実施した ②実施しなかった

2-2. 1で「②実施しなかった」と回答した場合、その理由を教えてください。

※これより先(2-3~11)は「①実施した」と回答した場合、お答えください。

2-3. 実施方法を選択肢から選んでください。

① 対面 ②オンライン(リアルタイム) ③オンライン(オンデマンド) ④対面&オンラインリアルタイム配信 ⑤対面&オンラインオンデマンド配信

2-4. 開催日数の合計(半角数字で回答)を記入してください。

2-5. 開催月を選択してください。(複数選択可)

2-6. 開催月の変更の検討をしていますか。

① 検討している ②検討していない

2-7. 検討をしている理由を教えてください。(2-6で「①検討している」と回答した場合)

2-8. 公開教科等について、該当するものを以下の選択肢から選んでください。①-③は幼稚園を、④-⑧は特別支援学校を主な対象とします。(複数選択可)

① 全クラス公開 ②一部クラス公開 ③公開クラスなし ④教育課程・指導計画 ⑤教科学習 ⑥  
学習評価・授業改善 ⑦ICT ⑧キャリアプラン ⑨国語 ⑩社会 ⑪地理歴史 ⑫公民 ⑬  
算数・数学 ⑭理科 ⑮生活 ⑯体育・保健体育 ⑰音楽 ⑱図画工作 ⑲美術 ⑳技術・家庭  
㉑家庭 ㉒外国語 ㉓情報 ㉔道徳 ㉕総合 ㉖特活

2-9. 全参加者数(半角数字で回答)を教えてください。

2-10. 一般の参加者からの参加費（資料代等）の徴収はありますか。無い場合は「0」を、ある場合はその金額（半角数字のみ）を記入してください。

2-11. より多くの人に参加してもらうため工夫している点について記入してください。

【7】給食について

1. 給食の実施について

①自校給食を実施 ②給食センターから配送 ③給食なし

1-1. 1. で「①自校給食を実施」「②給食センターから配送」と回答した場合、お答えください。給食の1週間の提供回数は何日ですか

5日 4日 3日 2日 1日

1-2. 1-1. で5日と回答しなかった場合、給食を実施していない曜日とその理由について記入してください

2 現在、給食について、課題はありますか？

① ある ②ない

2.で「①ある」と回答した場合、その課題についてすべて記入をしてください

【8】水泳の授業およびプールの維持・管理について

1. 水泳の授業は行っていますか？

①学校のプールで行っている ②学外のプールで行っている ③行っていない

1-1. 1. で「行っている場合」、1シーズンのプール実施時間は1クラス平均何時間ですか？

2時間以下 3時間 4時間 5時間 6時間 7時間以上

1-2. 学校にプールはありますか

① ある ②ない

1-3. 1. で水泳の授業を行っており、1-2でプールがある場合、プール掃除はどうしていますか

①プール内、プールサイドともに、教員のみで実施 ②プール内、プールサイドともに、教員と保護者で実施 ③プール内の掃除のみ外部委託、プールサイド掃除は教員で実施 ④プール内の掃除のみ外部委託、プールサイドは教員・保護者が実施 ⑤プール内、プールサイドともに、外部委託

1-4. プールの維持、管理、水泳の授業について課題はありますか。

【9】本調査の主旨も踏まえ、ご意見やお気付きのことがありましたらご記入ください。